

とくへつへん 特別編

わたしの歩んだ道



すぎもり こうき 杉森考起さん

〈プロフィール〉

プロサッカー選手。春日井市出身の17歳。兄の影響で4歳からサッカーを始める。昨年12月、名古屋グランパスとクラブ史上最年少となる16歳でプロ契約。

2014 FIFAワールドカップブラジル大会日本代表のトレーニングパートナーの1人に選ばれ、ブラジルまで同行した杉森考起さんに春日井広報大使・宮本忠博さんが突撃インタビューを行いました。

不安なことはありませんでしたか？
「お金が足りないうー」とか？」

当初、直前のアメリカ合宿までの予



© N.G.E

はい、すぐぐつれしかったです。代表メンバーの皆さんから、「今度にはメンバーに入れるように頑張れよ」と激励されました。

一生の宝物ですね？

代表メンバー全員のサイン入りユニホームです。酒井高德選手が着用したもので、誰のユニホームが当たるかは、くじで決まりました。

ブラジルでの思い出の品は？
世界トップクラスの選手のプレーを間近で観て、体の大きさや強さ、技術の高さを肌で感じました。特にすごいと思ったのは、コートジボワール代表のドログバ選手です。

ワールドカップを生で観て感じたことは？
定で、ワールドカップを観られると思っていなかったもので、とにかくうれしくて、不安は特に無かったですね（笑）



ブラジルで本田選手、香川選手と

話は変わりますが、4歳からサッカーを始めて、「ひょっとしたら僕は上手いのかも？」と気が始めたのはいつですか？

考えたことはありませんが…（笑）強いて言えば、グランパスへの加入が決まった時でしょうか。知らされた時は、とてもうれしかったです。

小学校から高校まで、サッカーと勉強の両立は大変ではなかったですか？

大変でしたが、学校にちゃんと通って勉強も頑張りました。好きな科目は数学です。小学5年生の時には、児童会にも入っていました。



練習の合間の息抜きにはどんなことをしていましたか？

友達との遊びもサッカーでしたね。練習のない日も、自主練習をするなど、毎日サッカーのことを考えていました。

今の目標を聞かせてください。
グランパスで試合に出て、活躍することです。そして2020年の東京オリンピックのメンバーに入れるように頑張ります。

最後に、春日井の子どもたちに一言お願いします。
しっかり勉強して、体を動かし、何でも楽しくやるのが一番です。そして練習はとにかく集中して、全力でやること。そうすれば、どんなジャンルでも「日本代表」になれる、そう思います。

つづもありがとうございます。